

向井潤吉
1910's - 1950's

民家への道

——私の民家への思慕執着は益々強まって、
終生この仕事に打ちこみたいと念願している。



《春泥の道》[北海道留萌] 1951年 カンヴァス、油彩
※[]内の地名の表記は、制作時の記録等に基づきます。

2017年4月1日(土) — 7月23日(日)

開館時間 10:00~18:00(最終入館は17:30まで)

休館日 毎週月曜日 ただし、7月17日(月・祝)は開館、7月18日(火)は休館

観覧料 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)

- 障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料
介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください
- ()内は20名以上の団体料金
- 小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

世田谷区制85周年

世田谷美術館分館

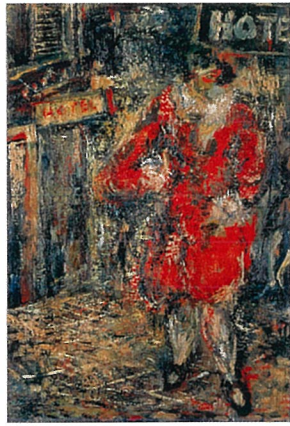
向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1 TEL 03-5450-9581

<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



《自画像》1919年 カンヴァス、油彩



《夜の街》1928年 カンヴァス、油彩



《泉(アングルの模写)》1929年 カンヴァス、油彩



《不詳(軍用機内無線士)》1937-44年 紙、水彩



《献木伐採》1943年頃 カンヴァス、油彩



《漂人》1946年 カンヴァス、油彩



《冬ざれ》[愛知県豊川市御油町]1950年頃 カンヴァス、油彩



《柿若葉》[甲州石和にて]1950年代 カンヴァス、油彩

向井潤吉(1901-1995)の画業は、青年時代の洋画との出会いから数えれば、70余年にわたります。平成29年度の向井潤吉アトリエ館では、その画業を3期にわけてご紹介し、第1期では1910年代から1950年代までの作品にふれてまいります。

向井潤吉は、京都の宮大工の家系に生まれ、10代半ばで絵画の道へと進みました。日本近代洋画の先駆者、浅井忠が創設した関西美術院に通い、徹底した写実表現の基礎を学びます。また、25歳で単身渡欧し、2年余りのパリ生活で同時代の美術の潮流にもふれるとともに、ルーヴル美術館で古典絵画の模写を重ね、油彩画の技法を研究しました。帰国後、戦時中には従軍画家として中国、フィリピン、ビルマに赴き、作戦記録画の制作に従事します。戦地のただ中で、向井は現地の自然風景や、休息する兵士達の姿などもスケッチに残しました。

終戦間際、戦地から戻った向井は、自宅の防空壕に持ちこんだ蔵書のなかから、民俗学者の柳田國男、今和次郎らが手がけた『民家図集』(緑草会編、大塚巧藝社、1930-31年)を手にし、戦災で失われる家々を描き残しておきたいという思いを抱くようになりました。そして、終戦後もない1945年の秋、長女の疎開先だった新潟県越後川口町での制作を皮切りとして、全国各地の民家を描きはじめました。「私の民家への思慕執着は益々強まって、終生この仕事に打ちこみたいと願っている」(向井潤吉『民家と風土』美術出版社、1957年)と語った、その言葉どおり、彼の民家を巡る旅は、生涯にわたって続きました。

大正から昭和。その揺れ動く時代の中で青年期を過ごし、やがて民家というモチーフへといたるまでの、向井潤吉の歩みをご覧ください。

イベント情報

世田谷美術館分館 ギャラリートーク

区内3ヶ所の分館で担当学芸員による作品解説を行います。ぜひご参加ください。

5月13日(土)11:00~ 向井潤吉アトリエ館

5月20日(土)11:00~ 宮本三郎記念美術館

5月27日(土)11:00~ 清川泰次記念ギャラリー

※いずれも20分程度、参加費無料(観覧料別途)、事前申込不要

向井潤吉 民家への道

1910's - 1950's

世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1
TEL.03-5450-9581 <http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

[交通案内] 東急田園都市線「駒沢大学」駅西口 徒歩10分 / 東急世田谷線「松陰神社前」駅 徒歩17分 / 東急バス(渋05)渋谷駅~弦巻営業所「駒沢中学校」徒歩3分 / 東急バス(等11)祖師ヶ谷大蔵駅~等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分 / 東急バス(等13)梅ヶ丘駅~等々力操車所「駒沢三丁目」徒歩3分 / 東急バス(渋11)渋谷駅~田園調布駅「駒沢大学駅前」徒歩10分 / 東急バス(渋12)渋谷駅~二子玉川駅・高津営業所「駒沢大学駅前」徒歩10分



© 宮本和義

世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17
TEL.03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

清川泰次が写したパリ
4月1日(土)~7月23日(日)



© 宮本和義

世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL.03-5483-3836
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

宮本三郎の描く身体 THE BODY in Saburo Miyamoto's Art
4月1日(土)~7月23日(日)



© 宮本和義



世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL.03-3415-6011(代表)
[展覧会のご案内] TEL.03-5777-8600(ハローダイヤル) <http://www.setagayaartmuseum.or.jp/> *詳細はホームページなどでご確認ください。

企画展
ミュージアムコレクションⅢ
ミュージアムコレクションⅠ

花森安治の仕事—デザインする手、編集長の眼
エリック・カール展 The Art of Eric Carle
ぜんぶ1986年—世田谷美術館の開館とともに
それぞれのふたり 淀井彩子と淀井敏夫
2017年2月11日(土・祝)~4月9日(日)
2017年4月22日(土)~7月2日(日)
2016年11月5日(土)~2017年4月9日(日)
2017年4月18日(火)~7月2日(日)

休館のお知らせ

世田谷美術館(世田谷区砧公園1-2)は、改修工事のため2017年7月3日(月)~2018年1月12日(金)の間、休館いたします。